

2009年1月1日～2024年12月31日の間に当科において胃がんの 薬物治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「化学療法を施行した胃癌症例の検討」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田 嘉信
研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 伊達 勲

研究責任者 岡山大学病院 低侵襲治療センター 准教授 香川俊輔

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

進行した胃がんの治療では抗がん剤療法が行われますが、近年新しい薬剤が使われるようになり、治療方法が変化してきています。これまでに当院で行われた胃がんの治療のために行われた抗がん剤治療のデータを振り返る研究を行います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究に成果によって、将来の胃がんの治療の進歩に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2009年1月1日～2024年12月31日の間に岡山大学病院において抗がん剤治療を受けられた胃がん患者さん220名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

2009年1月1日～2024年12月31日の間に当院において胃がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療を受けられた方のデータを選び、治療経過に関する分析を行い、治療の効果や、どういった条件が治療の効果に結びついているのか、について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、合併症、既往歴
- 2) 臨床病理学的因子（TNM因子、組織型、病期、分子マーカー、手術、検査データ）
- 3) 治療レジメン、コース数、期間
- 4) 有害事象（JCOG-CTCAE）
- 5) 生存情報、死亡日、死因

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年5月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 腫瘍センター

氏名：香川俊輔

電話：086-235-7257（平日：8時30分～17時30分）

ファックス：086-221-8775